

会議概要（令和4年2月4日）

案件 オンライン意見交換会の検証について、その他

1 オンライン意見交換会の検証について

別紙「オンライン意見交換会の実施結果について」を参照し、各委員から意見聴取。主な意見は以下のとおり。

(1)実施内容の検証

- ・オンラインでの開催だと今回の5名の参加者というのは人数的にはちょうどよかった。
- ・時間は結果として1時間がよかった。議会へのハードルを下げるために、定期的な会を企画して、議会を身近に感じてもらいたい。
- ・今までの報告会と進め方が違うため、時間を長めに設定してもよかったのではないか。
- ・今回のような進め方や、他には議会が報告してそれに対して意見をもらうなど色々なパターンで進めていくべき。
- ・意見交換の時間を長めに設定すれば議論が深まるというものでもない。
- ・若者が発言する時間が短かったのではないか。質問に対して全議員が回答したが、役割分担をして、参加者の意見を聞く時間をもう少し長くとる方がよかった
- ・質問の意図や思いを含めて質問事項を若者自身から発言してもよかったのではないか。
- ・広報が難しかった。
- ・参加者募集について、早めに個々がアプローチをしておけばよかった。
- ・若者の意見が聞けてよかった。

(2)今後に向けて

- ・テーマを一つに絞り委員の一人が代表して10～15分報告し、その後、意見交換をする手法もよいのでは。
- ・対面のときも、参加者全員が発言するわけではないので、必ず発言する必要はないのでは。
- ・今回の実施報告をしていくべき。
- ・今回のようにコロナ禍だからこそオンラインを望む人も多い。
- ・広報あかしや市議会だよりを使い、内容を知ってもらい、そこから参加者へつなげていってもよいのではないか。あわせて次回開催の予告まで広報できればよい。
- ・今回は若者だが、今後は年齢に関わらず参加対象者を絞ってパターンを変えてもよいのではないか。

- ・ SNSなどいろんなメディアを使って議会について情報発信していくべき。

委員長より、コロナ禍のオンライン開催で参加が増える可能性もあるので、次年度も実施できればとの説明あり。今後は反省点を踏まえながら、開催を検討していくことを確認。

2 議会基本条例の検証について

議会基本条例の検証について、会派の意見を各委員より聴取。

内容は以下のとおり

- ・ 議会報告会の文言を意見交換会などにするよう検討してはどうか。
- ・ 広聴に関して、報告会を必ず毎年開催するのではなく、市民の興味、関心が高いテーマがあるときに行うべき。
- ・ 議会報告会は現在の運用のままでよい。
- ・ 広報について、ツイッターなどのSNSも活用していくべきではないか。
- ・ 市議会だよりでの広報は、個人の議員名は、掲載すべきではない。
- ・ 市議会だよりには議員の名前を記載した方がよい。
- ・ 議員間討議について、ルールを決めて、案件によってはやってみてもよいのではないか。
- ・ 条例に明記していてもルール化していない討議について、早くルール化して具体化するべき。
- ・ 討議は、議題を明確にし、意見を出しあって実験的に行ってみるべき。
- ・ 災害時の対応に関しては一度シミュレーションしてみてもどうか。
- ・ 災害時の対応は具体化しなければならない。防災訓練を行い、議会としての動きを検証するべき。
- ・ 災害時に議員が地元で集めた情報を議会として集約する窓口が必要である。
- ・ 通年議会について検討してもよいのではないか。

委員長より、今後委員会では、広報・広聴、議員間討議、災害時の対応、通年議会について、今後さらに議論を深めていくことを確認。

3 委員会のインターネット中継について

委員会のインターネット中継について、会派の意見を各委員より聴取。各委員より、現在の状況で試行的にやってみてはどうかとの意見あり。委員長より、次年度

から出来るだけ経費がかからないようにしながら実施していくことを確認。

4 その他
なし

5 次回議会活性化推進委員会の開会日時について
3月議会終了後をめどに追って調整することを確認。

以 上